

【原 著】

NetCommons を活用した
全学教職課程を支えるウェブサイトの構築
—岡山大学の教職情報ポータルサイトを目指して—

佐藤 大介 山根 文男 高塚 成信 加賀 勝

A Report of Website Construction with “NetCommons” for All-University Teacher-Training Course
— For the Portal Site about Teaching Profession at Okayama University —

Daisuke SATOH , Fumio YAMANE , Shigenobu TAKATSUKA , Masaru KAGA

2012

岡山大学教師教育開発センター紀要 第2号 別冊

Reprinted from Bulletin of Center for Teacher Education
and Development, Okayama University, Vol.2, March 2012

NetCommons を活用した全学教職課程を支えるウェブサイトの構築

—岡山大学の教職情報ポータルサイトを目指して—

佐藤 大介^{*1} 山根 文男^{*2} 高塚 成信^{*3} 加賀 勝^{*4}

要旨：岡山大学教師教育開発センターでは、ウェブサイトを活用した全学教職課程を支える学生サービスの提供を開始するため、新たなウェブサイトを構築した。まず、想定される利用者を明らかにし、全体のページ構成について検討し、そこから必要となる機能を導き出した。そこで、国立情報学研究所が開発した Contents Management System (CMS)「NetCommons」を導入し、必要なカスタマイズを行った。また、NetCommons をインストールするサーバーについては、岡山大学情報統括センターが提供する「クラウドホスティングサービス」を活用して、アクセス制限や統合認証等にも対応した。ウェブサイト構築後は、まず教職員向けの機能理解・利用促進を図る取組を展開した。

キーワード：NetCommons、ウェブサイト、CMS、全学教職課程、教職情報ポータルサイト

※1 佐藤大介（岡山大学教師教育開発センター）

※2 山根文男（岡山大学教師教育開発センター）

※3 高塚成信（岡山大学大学院教育学研究科）

※4 加賀勝（岡山大学大学院教育学研究科・岡山大学教師教育開発センター）

I. はじめに

岡山大学教師教育開発センター（以下、「当センター」）が平成22年4月に創設されて以降、全学的な教師教育組織として大きな役割を担っている。組織としては（1）教師教育開発部門、（2）教職コラボレーション部門、（3）教職支援部門、（4）理数系教員養成事業部門の4部門があり、個々の部門が特色ある多様な活動に取り組んでいる。また、平成21年度大学教育・学生支援推進事業【テーマA】（大学教育推進プログラム）「総合大学が担う特色ある教員養成の質保証」の取組や、平成23年度からの特別経費プロジェクト「高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実」のための取り組みとして「教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現—学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる—」（以下、「先進的教員養成プロジェクト」）に実施主体として協働するなど、さらに拡充した事業展開を進めている。

こうした多岐におよぶ活動内容や事業取組、そしてそれらに関する最新のニュース・話題を適切に整理し「即時的に」かつ「広く」一般・関係者に対して情報公開をすることは当センターに求められる重

要な任務であり課題であった。

そこで、平成23年9月より当センターのウェブサイト国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして開発した Contents Management System (CMS：コンテンツ管理システム)「NetCommons」を導入し、ウェブサイトを一新した。本論では、NetCommons を活用したウェブサイト構築までのプロセスについて詳述し、全学教職課程を支えるウェブサイトの運用開始時の取組内容について述べる。

II. ウェブサイトリニューアルの背景

創設以降、当センターでは事業内容等の積極的な広報活動に取り組んでおり、パンフレットやウェブサイトを作成し広く情報発信に努めてきた。しかしながら、パンフレットは当センターの事業内容を概観するための資料であり、日々拡充している当センターの様々な取組を十分に広報できているとは言えなかった。またウェブサイトでは、更新頻度や掲載内容は決して十分ではなく、ウェブサイトでも更新される情報も報告冊子のお知らせや、学生対象のコンテンツとしてはイベント案内が中心であり、教職課程を履修する全学生に対する支援としてウェブサイ

トを十分に活用できていなかった。さらに、ホームページ作成ソフトで作成されており、Web プログラミング言語やホームページ作成のノウハウについて理解のある職員のみがサイト管理者として編集・更新作業を行うことができ、情報更新業務の負担がその職員に集中する可能性は高く、こうした状況はいずれサイト管理者が不在になった段階でウェブサイトの継続運用が困難になる場合が多い。

こうした状況を改善するため、岡山大学において教職課程を履修している全学生にウェブサイトを通じた新たなサービス・サポートの提供が可能な環境を整備する必要があった。また、ホームページ作成について専門的な知識を持たない教職員がいつでもどこでも継続して情報発信者となれることで、最新の情報を常に提供できる体制を整備し、ウェブサイトの管理・運営も円滑に進められる環境を構築する必要があった。

Ⅲ. 全学教職課程を支えるウェブサイト構築に向けた企画

1. ウェブサイト構築の目的

当センターは全学的な組織であることから、当センターの主たるステークホルダーである教育委員会や学校関係者、学生や将来教員を志す高校生、またその保護者を対象に、当センターの取組や教職に関する情報を随時広報・発信していくことで、事業のさらなる発展と深化を図り、地域教育とのつながりを強化することができ、学生の教職支援活動の向上につなげていくことを主な目的とする。

さらに、ウェブサイトを通じた教職課程履修学生に対する一層の充実したサービス・サポートを提供し、岡山大学の「教職情報ポータルサイト」の構築を目指す。

2. ウェブサイトの利用者

ウェブサイト利用者としては、以下を主たる対象と想定している。

- ・岡山大学学生・大学院生（卒業生・修了生を含む）
 - └ 教職課程履修学生
 - └ 教育学部を含む全学部所属学生
 - └ 教育学研究科を含む全研究科所属学生
- ・高校生
 - └ 教員養成系大学志望の高校生
 - └ 教育学部を含む教職課程認定学部志望の高校生

- ・学校園等教職員
 - └ 岡山県／岡山市／倉敷市／他 教育委員会
 - └ 幼稚園／保育園
 - └ 小学校／中学校／高等学校／中等教育学校
- ・大学教職員
 - └ 全国の教員養成系大学／短期大学／学部
 - └ 岡山大学を含む全国の高等教育機関
- ・一般
 - └ 学生・大学院生や高校生の保護者
 - └ 地域住民

3. ウェブサイトのページ構成

ウェブサイトのページ構成は当センター教職員からの要望を集約し、まずは以下のページ構成とする。
★印は、更新の度にトップページの新着情報等でリンクを一覧にヘッドライン表示する。

一般公開ページでは、当センターのコンテンツとは独立した形で、「岡山 CST 養成プログラム」「先進的教員養成プロジェクト」「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク」のページをそれぞれ構築する。会員専用ページでは、専用の ID およびパスワードでログインすることで閲覧できるページを構築する。岡山大学学生向けのサービスやサポートの他、教職員間で情報を共有するページも設ける。具体的には当センターが管理している東山ブランチの施設管理情報を担当者間で共有したり、またウェブサイト管理についてもサイト上で管理状況などを把握できるようにすることで、継続したウェブサイト運営ができる体制を整備していく。この会員専用ページでのサービスを総称して「CTED ポータル」とする。

また訪問者別（「はじめての方」、「在学生の方」、「CST 生の方」、「学校関係・教育委員会の方」、「教職員専用」）メニューをそれぞれ設け、訪問者別に関連するページを一覧で表示しナビゲートする。

各ページの掲載内容については、当センターパンフレットと整合性を取りながら、既存の文章や写真をまずは各ページに流し込み、その後各担当部門にて確認を行いながら、加筆・修正・削除、必要に応じてページの追加等を行う。

①一般公開ページ

1) 教師教育開発センター

- ・トップページ
 - └ ニュース・トピックス
 - └ ボランティア依頼募集
 - └ ★活動カレンダー
 - └ 特集
 - └ 関連リンク
- ・センター概要
 - └ センター長挨拶
 - └ 教師教育開発部門
 - └ 教職支援部門
 - └ 教職コラボレーション部門
 - └ 理数系教員養成事業部門
 - └ 教員紹介、Read & Researchmap ウィジェット
- ・事業・取組内容の紹介
 - └ 教職実践ポートフォリオ
 - └ 教職相談室 — 相談内容、時間
 - └ 教師力養成講座 — 流れ、過去の様子
 - └ 教師力養成講座受講申込フォーム
 - └ スクールボランティアビューロー
 - └ 連携協力事業 — 連携協力事業研究報告書
 - └ センター紀要 — 執筆要領、バックナンバー
 - └ センター紀要投稿申込
 - └ センター紀要原稿提出
 - └ ★活動カレンダー
 - └ ★活動ブログ
 - └ ★活動写真
- 全学教職課程について
 - └ 教職課程履修ハンドブック
 - └ 母校訪問
 - └ 介護等体験
 - └ 教育実習
- ・岡山大学スクールボランティア
 - └ ★スクールボランティア依頼情報
 - └ 岡山市学校支援ボランティア
 - └ 登録フォーム
 - └ 岡山県「教師への道」インターンシップ
 - └ 申請フォーム
- ・施設紹介・アクセスマップ
 - └ 津島キャンパス
 - └ 東山ブランチ
 - └ 東山ブランチ施設利用案内
 - └ 駐車場利用案内
 - └ 施設紹介
 - └ 施設予約状況
 - └ 施設利用申込フォーム（学内限定）

- ・リンク
- ・サイトマップ
- ・携帯サイト案内
- ・「岡大教職ナビ」案内
- ・お問い合わせ

2) 岡山 CST 養成プログラム

- ・トップページ
 - └ 新着情報
 - └ 関連リンク
- ・事業の概要
 - └ 岡山理数系教員(CST)養成拠点構築事業の特徴
- ・プログラムの概要
 - └ 岡山 CST 養成プログラムのカリキュラム
 - └ 各講座の概要
- ・★活動の様子
 - └ ★わくわく理科教室
- ・CST を目指す方へ
 - └ 岡山 CST 養成プログラムへの参加条件
 - └ ★募集関連情報
- ・現職 CST
- ・会員専用ログイン
- ・お問い合わせ

3) 先進的教員養成プロジェクト

- └ 事業の概要
- └ これまでの取組
- └ 現状と課題
- └ 実施体制
- └ オンデマンド研修事業部会
- └ 教科構成学開発事業部会
- └ ★活動ブログ

4) ユネスコスクール支援大学間ネットワーク

- └ 岡山大学ユネスコチェアについて
- └ 岡山大学ユネスコチェアの運営体制
- └ 岡山大学の ESD 活動内容
- └ 小中高校の学校教育との連携
- └ ASPUnivNet in English
- └ ★活動ブログ
- └ リンク

②会員専用ページ (CTED ポータル)

- ・岡大教職ナビ (学生向け)
 - ├ 投稿時の注意点 (教職員向け)
 - └ 教職掲示板投稿申込フォーム
 - ├ 教職掲示板
 - ├ 教職カレンダー
 - └ 各種申込フォーム
- ・授業ビデオライブラリー (学内限定)
 - ├ 授業ビデオ
 - └ 指導案・授業資料・教材
- ・教師力養成講座ビデオ (学内限定)
 - ├ バックナンバー
 - └ 配布資料
- ・[CST] 学生用 (CST 生向け)
 - └ CST ライブラリ
 - ├ 課題・資料
 - └ ビデオ
- ・[CST] 現職用 (CST 生向け)
- ・教師教育開発センター (教職員向け)
 - ├ 連絡掲示板
 - ├ 活動スケジュール
 - ├ ファイル共有
 - ├ 写真アルバム
 - ├ 教室予約
 - └ 各種管理簿
- ・東山ランチ施設管理 (教職員向け)
 - ├ 備品管理
 - ├ ファイル共有
 - └ 施設関連業者連絡先
- ・ウェブサイト運営管理 (教職員向け)
 - ├ 管理業務および管理日誌
 - ├ 設定情報
 - └ モジュール実験室
- ・当サイトの利用方法・FAQ (全利用者向け)

4. ウェブサイトに求められる機能

当センターウェブサイト構築にあたり、具体的に求められる機能として以下が考えられる。

- ・ユーザー管理機能
- ・ブログ・掲示板機能
- ・カレンダー／スケジュール管理機能
- ・ファイルアップロード機能
- ・ファイル (文書、写真等) 共有機能
- ・動画配信／共有機能
- ・ヘッドライン／RSS 表示機能
- ・施設管理／予約機能

・フォーム登録／送信機能

・携帯電話対応機能

上述の他、今後要望等に応じてアンケート集計や簡易的な Learning Management System (LMS: 学習管理システム) も必要になってくると考えられる。

IV. CMS について

1. CMS 導入・選定の経緯

Ⅲ. に示した企画をウェブサイトで実現させるためには、HTML や CSS、JavaScript や PHP、データベースといった Web プログラミング言語を組み合わせることで可能となる。しかしながら、こうしたプログラミングを行うには膨大な時間と費用が必要であり、また誰でも簡単に情報更新を行ったり、会員専用サイトを構築したりするためにはセキュリティにも十分配慮する必要がある。そこで、こうしたウェブサイトを簡単に構築できるシステムとして、CMS を導入することとした。

CMS 選定にあたっては、XOOPS や Movable Type、WordPress などのオープンソース型の CMS を検討し、その中で当センターでは国立情報学研究所が開発した NetCommons を採用した。採用の理由としては、次に掲げる新井 (2009、2010) による NetCommons の代表的なメリットを参考にした。

- ・モジュール探しの時間が不要であるため、すぐに使い始めることができる
- ・セキュリティレベルを保つことができる
- ・統一された操作性によって誰もが簡単に使うことができる
- ・統一感のあるサイトを作成できる
- ・日本語での情報が豊富である
- ・リリースしている主体が明らかのため、情報が入手しやすく安心感がある
- ・携帯電話への自動対応

CMS が日本製であることや開発しているのが国立機関であることは安心かつ信頼して使用でき、Ⅲ. 4. で述べた機能についてもモジュールがすべてパッケージ化されている点も大きなメリットであると考えられる。

また、NetCommons は 2,000 以上の学校で導入されている (新井、2011)。将来学校現場で教壇に立つ学生たちが、当センターウェブサイトの一会員として学生の間で NetCommons のシステムにふれておくこ

とは、当センターの任務である教師教育の一環であると考えられる。

以上のような理由から、NetCommons を当センターウェブサイトの CMS として選定した。

2. NetCommons のカスタマイズ

NetCommons を含むいずれの CMS も、対応したサーバーにインストールすることですぐに利用できる。しかしサイトデザインを岡山大学公式ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/>) と統一感を持たせ、また当センターの目的に適った仕様でのモジュールの微調整を行うため、ソースファイル (php ファイルや ini ファイル等) を編集し、新井 (2010) を参考に以下のようなカスタマイズを行った。なお、今回のバージョンは NetCommons 2.3.2.0 である。

①会員情報・ログインの調整

- ・会員情報の項目名を変更
- 「ログイン」モジュール
 - ・AD 認証方式から一般 LDAP 認証方式へ変更
 - ・LDAP 認証設定画面の入力許可文字を追加
 - ・携帯版ログインおよびパソコン版ログイン画面の「パスワード紛失」メッセージを非表示に設定

岡山大学情報統括センターが提供する統合認証基盤システムを活用したログイン認証ができるよう、LDAP 認証のための設定を行った。パスワードに関しては、統合認証基盤システムに登録されているパスワードを用いるため、システム ID (岡大 ID) を持つユーザーは NetCommons 独自のパスワードを使用しないよう設定した。また、会員情報の項目名も統合認証基盤システムと同様の項目名に変更した。

②アップロードファイルサイズの増強

- ・全モジュールのアップロードファイルサイズを 2MB から 256MB に変更
- ・タイムアウト警告を 120 秒に変更
- 「キャビネット」モジュール
 - ・「キャビネット」モジュールのアップロードサイズを無制限に変更 (ただし、CMS 全体のアップロードファイルサイズが上限となる

ため、256MB が最大)

- 「動画配信」モジュール
 - ・「動画配信」モジュールのアップロードサイズ制限を 256MB に変更

授業ビデオや活動記録の動画ファイル、会議資料や写真等等容量の大きいファイルの共有に対応できるように設定した。

③デザインレイアウトの調整

- ・文字サイズ変更ボタン「大」「中」「小」を追加
- ・オリジナル背景、ヘッダー、フッター、メニューバー、バナー画像等を作成し適用
- ・スタイルやテーマのカテゴリ定義を追加
- ・全体に表示されるフォントの種類を変更
- ・ファビコン (favicon.ico) を変更
- ・携帯用ロゴ画像 (logo.jpg) を変更
- ・チェック時エラーメッセージの変更
- 「キャビネット」モジュール
 - ・ファイル名の幅を 410px に変更
- 「カレンダー」モジュール
 - ・スケジュール別カレンダー表示幅を時間指定 予定タイトル 400px、終日予定タイトル 490px、ユーザー名 300px に各幅を変更
 - ・月表示 (縮小時) のフッターを非表示に設定
 - ・詳細表示時に更新日を非表示に設定
 - ・月表示 (縮小時) の日にち詳細を非表示に設定
- 「ログイン」モジュール
 - ・ログインボタンの配色変更を文字サイズ変更ボタンと同色に指定
- 「動画配信」モジュール
 - ・文字表示行間を 15px に変更
- 「フォトアルバム」モジュール
 - ・画像の枠線を削除
 - ・投稿日時を非表示に設定
- 「新着情報」モジュール
 - ・RSS 画像 (rss.gif) を変更
 - ・日本語の年月日時分表示を「01/01 01:01」型を「2011年01月01日」型に変更

ウェブサイト全体のデザインにあった画像や独自ヘッダー・フッター等を作成し、それらと統一感を持

たせるよう、幅や行間、また画像等の設定を行った。また、ウェブサイト閲覧者側で不要となるデフォルトでは表示されている情報を非表示にするよう設定した。このカスタマイズにより教職員は過去の記事の更新時期を配慮する必要がなくなり、閲覧者もサイト利用時に操作上の戸惑いを軽減させ、見やすさを向上させることができると考えられる。

④ WYSIWYG エディタの絵文字の追加

・ WYSIWYG エディタの絵文字を追加

NetCommons の編集画面で用いられる WYSIWYG エディタで利用できる絵文字を追加し、日誌や掲示板等において活用できるようにした。

V. サーバーについて

1. サーバー環境

ウェブサイトを構築するにあたり、サーバーを新たに導入する必要があった。NetCommons で要求されるサーバー環境は以下の通りである（「NetCommons2 公式サイト」より一部抜粋）。

1) サーバーソフトウェア

Web サーバー：Apache 1.3 もしくは 2 以降

PHP：PHP 4.3.9 以降

データベース：MySQL 4.1 以降

OS：Linux, Windows Server

2) ハードウェア

CPU：Pentium4 2.8GHz 以上

メモリ：1GByte 以上

HDD：30GByte 以上

2. クラウドホスティングサービスの活用

これまで当センターのウェブサイトを運用していたサーバーではV. 1. のサーバー環境を満たしておらず、新たにサーバーを導入する必要があった。

サーバーの導入にあたっては、(1) サーバーを新規に購入して独自にセットアップ作業から保守管理を行う方法と (2) レンタルサーバーを契約して導入する方法が考えられた。独自のサーバー設置では、費用や人員等が必要であり、また、レンタルサーバーでは動画配信やファイル共有をすることから容量制限や機能制限の問題が懸念された。そこで、情報統括センターが平成 23 年度より提供を開始した「クラウドホスティングサービス」では、こうした問題点を克服でき、また学内サービスであるため安心して使用できることから、活用を決定し利用申請を行った。

この「クラウドホスティングサービス」では、24 時間 365 日の無停止運用が可能であり、サーバーや OS の管理が不要である上、サーバーにはセキュリティ対策も講じられている。また、NetCommons を運用し、当センターのウェブサイト運用に必要なハードウェア環境として CPU を除いて備えられていた(他のスペックから CPU の若干の不足は特段の問題ではないと考えられる)。

CPU：2.66GHz

メモリ：4GByte

HDD：400GByte 以上

OS：CentOS 5.6

また、情報統括センターでは「クラウド運用支援サービス」を提供しており、技術的なサポートや NetCommons を動作させる上で最低限必要な環境を立ち上げ段階で提供してもらえ、運用後のクラウド上のサーバー監視やトラブル調査についても情報統括センターの支援が得られるため、当センターの負担も軽減された。

この「クラウドホスティングサービス」の利用と同時に、サブドメインの申請を情報統括センターに行い、「cted.okayama-u.ac.jp」のドメインを新たに取得した。そのためウェブサイトの公開後は、旧ウェブサイトにならなくなったリンク先として取得したドメイン URL を掲載し、また自動的にジャンプするよう設定を行った。

3. サーバーの設定

NetCommons のカスタマイズや当センターの仕様に合わせてサーバーの設定を一部変更する必要があった。そのため、以下のような設定を行った。

①学内限定情報へのアクセス制限

ウェブサイトの情報の一部には、学外関係者に対して関係のない情報も含まれており、以下のようなページについては学内関係者のみに限定的に閲覧許可を与える設定を行うと同時に、.htaccess を有効化した。

<学内限定情報の例>

- ・東山ブランチ施設管理
- ・東山ブランチ施設利用申込フォーム

- ・授業ビデオライブラリー
- ・教師力養成講座ビデオ
- ・ウェブサイト運営管理

② LDAP 認証に係る設定

岡山大学の統合認証基盤システムを用いたログイン認証ができるように、LDAP 認証に必要なサーバーサイドの設定を行った。また、同時に SSL サーバー証明書を取得し、サーバーに設置するとともに、443 ポートへの接続を許容した。

③ 「動画配信」モジュールに必要なソフトウェアのインストール

NetCommons の「動画配信」モジュールは拡張モジュールであり、別途導入が必要なソフトウェアとして、(1) ffmpeg、(2) ffmpeg-php、(3) PHP GD library がサーバーサイドに必要であるため、そのインストール作業を行った。

④ NetCommons のカスタマイズに伴う変更

NetCommons のカスタマイズにおける「アップロードファイルサイズの増強」の修正に合わせて、PHP 最大メモリ、POST データ量、アップロード最大容量をそれぞれ変更した。また NetCommons のセキュリティガイドに表示されている「register_globals」および「allow_url_fopen」の 2 つの項目においても推奨値に設定した。

⑤ 「Apache 2 Test Page」の非表示

取得ドメインにアクセスすると公開ディレクトリに index ファイルが存在しない場合デフォルトで表示される「Apache 2 Test Page」を非表示に設定した。

4. NetCommons のインストールと初期設定

NetCommons のカスタマイズおよびサーバーの設定が完了した段階で、サーバーに NetCommons 2.3.2.0 の圧縮ファイル (.tar.gz) をアップロードし、インストール作業を行った。また、データベースへのアクセスは phpMyAdmin を利用しており、データベースの初期設定として、NetCommons カスタマイズ時のテンプレートを適応させるよう値を変更した。その後コントロールパネルから「システム管理」「会員管理」「個人情報管理」「権限管理」「セキュリティ管理」の各メニューより必要な設定を行った。

5. システムの監視および管理

実運用に際しシステムの監視および管理は重要な業務である。クラウド上にあるサーバー本体のハードウェア監視については、情報統括センターで管理してもらっているため、当センターで管理が必要となるのは CMS を含むサーバーにインストールしたソフトウェアに関する部分である。そこで、NetCommons の管理者マニュアルを参考にしながら、以下のような点検項目を設けてシステムの監視および管理にあっている。

・サイト全体の更新情報の確認

不適切な書き込みや権限のない会員が書き込んでいないかなどを監視する。

・サイト全体のバックアップ

サーバー故障時などの対応としてバックアップファイルを別の記憶媒体に保存し、他者が情報を読み取ることができないようパスワードを設定した上で、厳重保管する。

・セキュリティ管理のチェック

セキュリティ管理の「ログ一覧表示」等を定期的にチェックし、悪意あるアクセスに対して拒否設定などの処理を行う。

・管理者パスワードの変更

最低 8 文字以上の英数記号のランダムな並びで定期的にパスワードを変更し、不正な管理者アクセスを防ぐ。

・不要ファイルのクリーンアップ

すべてのモジュールで不要となったファイルの削除を行い、不必要にファイルをサーバー上に残さないようにする。

・データベースの最適化

全てのデータベーステーブルを最適化し、不必要な情報をデータベース上に残さないようにする。

・ソフトウェアのアップデート

常にソフトウェアを最新の状態に維持する。その際、NetCommons についてはカスタマイズ内容に影響が出ないようファイルの確認を必ず行う。

VI. ウェブサイト構築後の取組と成果

ウェブサイト構築後の取組としては、まず CMS 活用者であり情報発信者となる教職員を対象としたウェブサイトの機能理解・利用促進を図るための取り組みを中心に行った。

①ウェブサイト説明会の実施

平成 23 年 9 月に岡山大学公式ホームページからのリンクが正式に認められ、新しいウェブサイトの本格運用が始まった。そこで、まずは当センターに係る教職員を対象に NetCommons の特徴やモジュール機能について理解してもらうため、平成 23 年 9 月 29 日に操作説明会を実施した。当サイトで利用する主な機能、サイト構成・ルームの種類、権限の種類、基本操作、登録情報の変更方法、モジュールの使い方などについて、パソコンルームにおいてデモコンテンツを使用しながら、実際に操作を体験してもらった。これにより、ウェブサイトの活用方法などについて教職員に理解してもらうことができた。

②積極的な情報発信

NetCommons の導入により、どの教職員でも簡単にウェブサイト上で情報発信が可能となった。ウェブサイトへの情報掲載については当センターの各部門で協議し、部門長の了承の下、行っている。これにより、今まで以上に様々な情報が即時的に更新されるようになり、更新の頻度も増加したため、多岐におよぶ当センターの取り組みを広報できるようになった。

③教職員間の情報共有ページの作成

NetCommons は CMS 機能だけではなく、グループウェアとしても活用できることから、CTED ポータル内に当センター教職員専用ページを作成した。

当センターでは、専門業務型裁量労働制の教員や勤務時間が異なる職員が勤務しており、研究室等への在室状況などが分かりにくい状態であった。また、当センターの規程やロゴマーク、委員会等の資料や記録写真等については、当センター事務室が管理しており、必要な場合は職員に確認して入手する必要があった。本システムを活用してこうした問題点を改善できるよう、まずは「カレンダー」と「キャビネット」モジュールを活用して個人スケジュール管理や委員会資料のアップロードなど情報の共有を開始した。操作に慣れた段階で、当センター関係教職員にメール一斉送信が可能な「掲示板」モジュールを設置し、全体への連絡事項についてはウェブサイト上で行うようになった。

また、東山ブランチの施設管理に関する情報やウェブサイトの運営管理に関する情報についても随時共同で更新しており、担当者間における情報の共有化がウェブサイトを通じて図られている。

④当センター所属教員の個人ウェブサイト開設

当センター教員が個人的にウェブサイトの開設を希望する場合、ホームページ作成について詳しくない場合でも、NetCommons を使用して開設できるよう、その支援を提供している。個人ウェブサイトのデザインについては、当センターのデザインと同様のものとなり、統一感を持たせることができる。平成 24 年 1 月 10 日現在で教員からの希望はまだ出ていないが、今後 NetCommons の活用を進める中で、必要に応じて対応する。

Ⅶ. 今後の課題

平成 23 年 9 月よりウェブサイトの本格運用が始まり、学生および教職員向けのサービスとして CTED ポータル内で様々なコンテンツの提供を 11 月より開始した。しかしながら、教職課程履修学生にとってどのようなコンテンツが求められているのか、教職情報として配信する内容はこういったものが不可欠であるかなど、教職員が一丸となってコンテンツを検討・整理していく必要がある。今後全学教職課程を支えるために必要なコンテンツをより充実させていくために、学生をはじめとする利用者に対して十分なニーズ調査・分析も行っていく必要があると考えている。

また、NetCommons で提供される様々なモジュールを用いて、全学教職課程を支えることができるウェブサイトの新たな活用方法についても検討していかないといけない。そのためにも、利用規約等を整備し、情報提供者・閲覧者・ウェブサイト管理者の三者が相互に安心して利用できる体制を作っていくことも今後の重要な課題である。

Ⅷ. おわりに

NetCommons を活用したウェブサイトの構築により、全学組織として教職課程を履修するすべての学生に対するサービス・サポートの提供が可能な環境が整備された。学内掲示板等による学生の自発的な情報収集だけではなく、情報化が進む中でメール受信等による自然的な情報収集も学生にとっては重要なツールとなっている。学生の要望やニーズなども把握しながら、学生に真に必要な教職情報を提供し、教師への夢をナビゲートできる「教職情報ポータルサイト」を目指して、さらなる活用を進め、コンテンツを充実させていきたい。

謝辞

ウェブサイト構築にあたっては、当センターおよび岡山大学大学院教育学研究科、教育学系事務部の教職員からの様々なご提案・ご要望をいただいたことにより、企画・構築から完成まで至ったことを心から御礼申し上げたい。また、岡山大学情報統括センター教職員においては、サービス提供から技術的なご助言・ご指導を多々いただき、本ウェブサイトが利用しやすく充実したものとなったことを、深く感謝申し上げるとともに、今後も継続したサポートをお願いしたい次第である。

参考文献・参考 URL

- 岡山大学大学院教育学研究科，岡山大学教師教育開発センター，(2011)，平成 21 年度文部科学省大学教育推進 GP 選定取組「総合大学が担う特色ある教員養成の質保証」中間報告書．岡山．
- 新井 紀子，(2009)，私にもできちゃった！ NetCommons で本格ウェブサイト．東京：近代科学社．
- 新井 紀子 (Ed)，橋本俊秀，藤原りか．(2010)．私にもできちゃった！ NetCommons 実践デザインカスタマイズ．東京：近代科学社．
- 新井 紀子，平塚知真子，松本太佳司．(2011)．私にもできちゃった！ NetCommons 実例でわかるサイト構築．東京：近代科学社．
- The NetCommons Project．(n.d.)．NetCommons2 公式サイト．Retrieved from <http://www.netcommons.org/> 特徴 / 動作環境 /

A Report of Website Construction with “NetCommons” for All-University Teacher-Training Course — For the Portal Site about Teaching Profession at Okayama University —

Satoh Daisuke*1, Yamane Fumio*1, Takatsuka Shigenobu*2, Kaga Masaru*1*2

The Center for Teacher Education and Development, Okayama University, constructed a new website to provide better services for students in all-university teacher-training course through the website. In this project, first of all, supposed users and contents were considered and they led some necessary functions for the website. Therefore, Contents Management System (CMS) “NetCommons” the National Institute of Informatics develops were adopted and customized. Also, “Cloud Hosting Service” the Center for Information Technology and Management, Okayama University, provides was applied as a server to install NetCommons. Access restriction and integrated authentication were set up on this server. After the website started working, first, several efforts was made to understand functions and advantages of NetCommons toward staffs.

Keywords: NetCommons, Website, CMS, All-University Teacher-Training Course, Portal Site about Teaching Profession

*1 Center for Teacher Education and Development, Okayama University

*2 Okayama University Graduate School of Education
